

別表 専門試験出題分野及び出題数一覧表

- 内の数字は、出題予定数であり、「政治学・国際関係⑩」とは、政治学及び国際関係から10題出題する意味です。
- [ ]内は分野名又は科目名の説明であり、その中で例示してある内容の問題が必ず出題されるとは限りません。
- 「試験の区分」によっては、同時に選択できない科目がありますので、注意してください。

【院卒者試験】

試験の区分	専門試験（多肢選択式）	専門試験（記述式）
行政	<p>次の選択Ⅰ、Ⅱ、Ⅲからいずれかを選択し解答</p> <p>〔選択Ⅰ 政治・国際系〕 48題出題 40題解答</p> <p>必須問題 政治学・国際関係⑩、憲法・行政法⑩、民法（担保物権、親族及び相続を除く。）③、経済学・財政学⑥、経済政策③の計32題</p> <p>選択問題 次の選択A、B（各8題）から一つを選択 選択A 政治学・行政学⑧ 選択B 国際関係・国際法⑤</p> <p>〔選択Ⅱ 法律系〕 49題出題 40題解答</p> <p>必須問題 憲法⑦、行政法⑫、民法⑫の計31題</p> <p>選択問題 商法③、刑法③、労働法③、国際法③、経済学・財政学⑥の18題から任意の計9題解答</p> <p>〔選択Ⅲ 経済系〕 46題出題 40題解答</p> <p>必須問題 経済理論⑩、財政学・経済政策⑤、経済事情⑤、統計学・計量経済学⑤の計31題</p> <p>選択問題 経済史・経済事情③、国際経済学③、経営学③、憲法③、民法（担保物権、親族及び相続を除く。）③の15題から任意の計9題解答</p>	<p>選択問題 3題</p> <p>次の14科目から3科目選択 政治学、行政学、国際関係、公共政策（2題）、憲法、行政法、民法、商法、刑法、民事訴訟法、国際法、経済理論、財政学、経済政策</p> <p>（注）公共政策を含む選択をする場合にあっては、2科目又は3科目</p>
人間科学	<p>105題出題 40題解答</p> <p>Ⅰ部 5題 人間科学に関する基礎〔人間科学における調査・分析に関する基礎、人間科学における行政的問題を含む。〕</p> <p>Ⅱ部 15題 次の選択A、B（各15題）から一つを選択 選択A 心理系 人間の資質及び行動並びに人間関係の理解に関する心理学的基礎（心理学史、生理、知覚、学習等）⑪ 心理学における研究方法に関する基礎④ 選択B 教育・福祉・社会系 教育学、福祉及び社会学に関する基礎⑫ 教育学、福祉及び社会学における調査・分析に関する基礎③</p> <p>Ⅲ部 20題 次の14科目（各5題）から4科目を選択し、計20題解答 認知心理学、臨床心理学、教育環境学、教育心理学、教育経営学、教育方法学、社会福祉総論、社会福祉各論、福祉計画論、地域福祉論、社会学（理論）、社会学（各論）、社会心理学、現代社会学</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の6題から2題選択 心理学に関連する領域②〔人間の資質及び行動並びに人間関係の理解に関する心理学的基礎、行政的な課題・社会的事象について、心理学的な視点から論述するもの〕、 教育学、福祉及び社会学に関連する領域①、 教育学に関連する領域①、 福祉に関連する領域①、 社会学に関連する領域①</p> <p>（注）同じ領域から2題選択可。</p>
工学	<p>165題出題 40題解答</p> <p>必須問題 工学に関する基礎〔数学及び物理の基礎的な知識に基づく工学的手法の応用能力を問うもの等〕の計20題</p> <p>選択問題 次の29科目（各5題）から4科目、5科目又は6科目を選択し、その20～30題のうちから任意の計20題解答 1. 技術論〔技術の歴史、技術と社会との関連、等〕、 2. 基礎化学、3. 工学基礎実験、4. 情報基礎、 5. 電気工学、6. 電磁気学、7. 材料力学〔機械系〕、 8. 流体力学〔機械系〕、 9. 構造力学（土木）・土木材料・土木施工、 10. 土質力学・水理学、11. 環境工学（土木）・衛生工学、 12. 構造力学（建築）、13. 建築構造・建築材料・建築施工、 14. 計測工学・制御工学、15. 情報工学（ハードウェア）、 16. 情報工学（ソフトウェア）、17. 電子工学、18. 通信工学、 19. 機械力学、20. 熱力学・熱機関〔機械系〕、21. 土木計画、 22. 建築計画・建築法規・建築設備、23. 建築史・都市計画、 24. 材料工学（材料科学）〔材料物理、材料化学〕、 25. 材料工学（金属材料・無機材料）、 26. 原子力工学（原子核・放射線）、 27. 原子力工学（原子炉・核燃料サイクル）、 28. 船舶海洋工学（流体）〔船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動〕、 29. 船舶海洋工学（構造）〔船体強度・振動、船舶設計・艤装〕</p> <p>（注）8（流体力学〔機械系〕）と10（土質力学・水理学）の同時選択不可。7（材料力学〔機械系〕）と9（構造力学（土木）・土木材料・土木施工）と12（構造力学（建築））の同時選択不可。</p>	<p>選択問題 1題又は2題 次の29科目から出題 解答題数 ア. 1（建築設計）又は2（都市設計）を選択する場合は、その1科目（1題）のみを選択解答 イ. ア以外の場合は、2科目から各1題、計2題を選択解答 （注）2題以上出題される科目にあっては、そのうち1題のみ選択可。</p> <p>1. 建築設計①、2. 都市設計①、3. 計測工学①、4. 制御工学②、 5. 情報工学（ハードウェア）①～②、6. 情報工学（ソフトウェア）①～②、 7. 電磁気学・電気回路①、8. 電気機器①、9. 電力工学①、 10. 電子工学①、11. 通信工学①、12. 信頼性工学①、 13. 材料力学〔機械系〕①、14. 機械力学①、15. 流体力学〔機械系〕①、 16. 熱力学・熱機関〔機械系〕①、17. 航空工学①、18. 構造力学（土木）①、 19. 土質力学①、20. 水理学①、21. 土木計画②、 22. 環境工学（土木）・衛生工学②、 23. 材料工学（材料科学）〔材料物理、材料化学〕①～②、 24. 材料工学（金属材料）①～②、25. 材料工学（無機材料）①、 26. 原子力工学（原子核・放射線）①、 27. 原子力工学（原子炉・核燃料サイクル）①～②、 28. 船舶海洋工学（流体）〔船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動〕①～②、 29. 船舶海洋工学（構造）〔船体強度・振動、船舶設計・艤装〕①～②</p> <p>（注1）13（材料力学〔機械系〕）と18（構造力学（土木））の同時選択不可。 15（流体力学〔機械系〕）と20（水理学）の同時選択不可。21（土木計画）と22（環境工学（土木）・衛生工学）の同時選択不可。 （注2）1（建築設計）及び2（都市設計）は、「一般的な建築物及び都市・地区の設計を課題とし、マスタープラン（図面及び論述）の作成により、設計する能力及び企画する能力を問う問題」。他の選択科目は、「科目内容に応じて必要な専門的知識、技術などの能力を論述、計算等を通じて問う問題」。</p>

試験の区分	専門試験（多肢選択式）	専門試験（記述式）
数理学・物理・地球科学	<p>115題出題 40題解答</p> <p>I部 5題 基礎数学・情報数学</p> <p>II部 10題 次の選択A、B（各10題）から一つを選択 選択A 数理学系 線形代数、解析、確率・統計 選択B 物理・地球科学系 基礎物理、地球科学</p> <p>III部 25題 次の17科目90題のうち任意の計25題解答 集合・位相、代数、幾何、解析、確率・統計、情報理論、計算機数学、離散数学、数値計算、数学モデル、オペレーションズ・リサーチ、経営工学（経営数学・生産管理・品質管理）、物理数学、古典物理学、現代物理学（物性物理学を含む。）、地球物理学、地質学</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の科目から15題出題、任意の2題選択 代数、幾何、解析、確率・統計⑤、情報科学①、数学モデル①、経営工学（経営数学・生産管理・品質管理）①、古典物理学、現代物理学（物性物理学を含む。）③、地球物理学②、地質学②</p> <p>（注）同じ科目から2題選択可。</p>
化学・生物・薬学	<p>106題出題 40題解答</p> <p>必須問題 基礎数学、基礎物理、基礎化学、基礎生物学の計10題</p> <p>選択問題 次の16科目（各6題）から5科目又は6科目を選択し、その30～36題のうちから任意の計30題解答 1. 数学・物理、2. 基礎物理化学・基礎無機化学、3. 物理化学・無機化学、4. 有機化学、5. 工業化学・化学工学、6. 分析化学・薬化学、7. 薬理学、8. 薬剤学・衛生化学、9. 食品学、10. 土壌肥科学・環境科学・農薬、11. 生化学・分子生物学、12. 応用微生物学・生物工学、13. 発生生物学・生理学、14. 細胞生物学（形態学を含む。）・放射線生物学、15. 遺伝学・進化学、16. 生態学（動物行動学を含む。）・系統分類学</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の科目から19題出題、任意の2題選択 物理化学②、無機化学①、有機化学①、分析化学①、化学工学①、薬化学①、薬理学①、薬剤学①、食品学①、土壌肥科学・農薬①、生化学①、分子生物学・生物工学①、応用微生物学①、発生生物学①、生理学①、細胞生物学（形態学を含む。）①、遺伝学①、生態学（動物行動学を含む。）①</p> <p>（注）同じ科目から2題選択可。</p>
農業科学・水産	<p>140題出題 40題解答</p> <p>I部 5題 生物資源に関する基礎 [生物資源科学、食料事情、統計学]</p> <p>II部 10題 次の選択A、B（各10題）から一つを選択 選択A 農業科学系 農業科学に関する基礎 [農業・畜産業、生物学に関する基礎] 選択B 水産系 水産学に関する基礎</p> <p>III部 25題 次の23科目（各5題）から5科目を選択し、計25題解答 1. 作物学、2. 園芸学、3. 育種遺伝学、4. 植物病理学、5. 昆虫学、6. 土壌肥科学・植物生理学、7. 経済学、8. 農業資源経済学（基礎）、9. 農業資源経済学（応用）、10. 農業経営学、11. 食料政策・農業政策・農業関係法律、12. 家畜育種学、13. 家畜繁殖学、14. 家畜生理学、15. 家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学、16. 畜産一般 [畜産物生産・畜産物加工・畜産物流通]、17. 水産経済学・水産経営学、18. 漁政、19. 漁業学・水産資源学、20. 水産海洋学・水産環境保全、21. 水産生物学・増養殖学、22. 水産化学・水産利用学、23. 水産一般 [水産物生産・水産物加工・水産物流通]</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の20科目（各1題）から2科目選択 1. 作物学、2. 園芸学、3. 育種遺伝学、4. 植物病理学、5. 昆虫学、6. 農業資源経済学、7. 農業経営学、8. 食料政策・農業政策、9. 家畜育種学、10. 家畜繁殖学、11. 家畜生理学、12. 家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学、13. 漁業学、14. 水産資源学、15. 水産海洋学、16. 水産環境保全、17. 水産生物学、18. 増養殖学、19. 水産化学、20. 水産利用学</p>
農業農村工学	<p>76題出題 40題解答</p> <p>必須問題 農業農村工学に関する基礎 [農業・農村一般③、農業生産・環境一般②、数学・情報処理③、農業農村工学一般⑥、応用力学④、水理学④] の計22題</p> <p>選択問題 次の9科目（各6題）から3科目を選択し、計18題解答 1. 設計・施工、2. 農業水文学、3. 土地改良、4. 農村計画学・公共経済学、5. 農村環境整備、6. 機械基礎工学 [機械力学及び機械要素・設計]、7. 生物生産機械工学、8. 食料機械工学・生物生産施設工学、9. 環境調節工学 [農業気象学及び生物工学を含む。]</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の9科目（各1題）から2科目選択 1. 設計・施工、2. 農業水文学、3. 土地改良、4. 農村計画学、5. 農村環境整備、6. 公共経済学、7. 生物生産機械工学、8. 食料機械工学・生物生産施設工学、9. 環境調節工学 [農業気象学及び生物工学を含む。]</p>

試験の区分	専門試験（多肢選択式）	専門試験（記述式）
森林・ 自然環境	<p>121題出題 40題解答</p> <p>必須問題 森林・自然環境に関する基礎 [森林・自然環境に関する基礎科学④、森林・自然環境の現状と基本政策⑤、森林・自然環境の機能・効用に関する基礎④]の計13題</p> <p>選択問題 次の12科目（各9題）から3科目を選択し、計27題解答 1. 森林環境科学（森林政策及び林業動向を含む。）、 2. 森林資源科学（森林立地及び森林保護を含む。）、 3. 森林生物生産科学（森林経営・育林技術・森林工学）、 4. 砂防学基礎、5. 砂防工学、6. 流域管理、7. 造園学原論・造園材料、 8. 造園計画（自然公園） [自然環境保全を含む。]、 9. 造園計画（都市公園） [都市計画を含む。]、 10. 木材特性・木質構造 [木材需給を含む。]、11. 木材加工・材質改良、 12. 木材成分利用（特用林産を含む。)</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の4科目（各3題）から1科目を選択し、任意の2題解答 1. 森林科学に関する基礎、 2. 国土保全に関する基礎、 3. 自然環境・公園緑地に関する基礎、 4. 木材等林産物に関する基礎</p>

(注)「専門試験（多肢選択式）」と「専門試験（記述式）」の選択問題の選択は、必ずしも一致している必要はありません。

## 【大卒程度試験】

試験の区分	専門試験（多肢選択式）	専門試験（記述式）
政治・国際	<p>48題出題 40題解答</p> <p>必須問題 政治学・国際関係⑩、憲法・行政法⑩、民法（担保物権、親族及び相続を除く。）③、経済学・財政学⑥、経済政策③の計32題</p> <p>選択問題 次の選択A、B（各8題）から一つを選択 選択A 政治学・行政学⑧ 選択B 国際関係・国際法⑧</p>	<p>選択問題 3題</p> <p>次の6科目から3科目選択 政治学、行政学、憲法、国際関係、国際法、公共政策（2題）  (注)公共政策を含む選択をする場合にあつては、2科目又は3科目</p>
法 律	<p>49題出題 40題解答</p> <p>必須問題 憲法⑦、行政法⑫、民法⑫の計31題</p> <p>選択問題 商法③、刑法③、労働法③、国際法③、経済学・財政学⑥の18題から任意の計9題解答</p>	<p>選択問題 3題</p> <p>次の5科目から3科目選択 憲法、行政法、民法、国際法、公共政策（2題）  (注)公共政策からは1題のみ選択可。</p>
経 済	<p>46題出題 40題解答</p> <p>必須問題 経済理論⑩、財政学・経済政策⑤、経済事情⑤、統計学・計量経済学⑤の計31題</p> <p>選択問題 経済史・経済事情③、国際経済学③、経営学③、憲法③、民法（担保物権、親族及び相続を除く。）③の15題から任意の計9題解答</p>	<p>必須問題 1題 経済理論</p> <p>選択問題 2題 次の3科目から2科目選択 財政学、経済政策、公共政策（2題）  (注)公共政策からは1題のみ選択可。</p>
人間科学	<p>105題出題 40題解答</p> <p>I部 5題 人間科学に関する基礎 [人間科学における調査・分析に関する基礎、人間科学における行政的問題を含む。]</p> <p>II部 15題 次の選択A、B（各15題）から一つを選択 選択A 心理系 人間の資質及び行動並びに人間関係の理解に関する心理学的基礎（心理学史、生理、知覚、学習等）⑪ 心理学における研究方法に関する基礎④ 選択B 教育・福祉・社会系 教育学、福祉及び社会学に関する基礎⑫ 教育学、福祉及び社会学における調査・分析に関する基礎③</p> <p>III部 20題 次の14科目（各5題）から4科目を選択し、計20題解答 認知心理学、臨床心理学、教育環境学、教育心理学、教育経営学、教育方法学、社会福祉総論、社会福祉各論、福祉計画論、地域福祉論、社会学(理論)、社会学(各論)、社会心理学、現代社会論</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の6題から2題選択 心理学に関連する領域②[人間の資質及び行動並びに人間関係の理解に関する心理学的基礎、行政的な課題・社会的事象について、心理学的な視点から論述するもの]、 教育学、福祉及び社会学に関連する領域①、 教育学に関連する領域①、 福祉に関連する領域①、 社会学に関連する領域①  (注)同じ領域から2題選択可。</p>

試験の区分	専門試験（多肢選択式）	専門試験（記述式）
工 学	<p>165題出題 40題解答</p> <p>必須問題 工学に関する基礎〔数学及び物理の基礎的な知識に基づく工学的手法の応用能力を問うもの等〕の計20題</p> <p>選択問題 次の29科目（各5題）から4科目、5科目又は6科目を選択し、その20～30題のうちから任意の計20題解答</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 技術論〔技術の歴史、技術と社会との関連、等〕、</li> <li>2. 基礎化学、</li> <li>3. 工学基礎実験、</li> <li>4. 情報基礎、</li> <li>5. 電気工学、</li> <li>6. 電磁気学、</li> <li>7. 材料力学〔機械系〕、</li> <li>8. 流体力学〔機械系〕、</li> <li>9. 構造力学（土木）・土木材料・土木施工、</li> <li>10. 土質力学・水理学、</li> <li>11. 環境工学（土木）・衛生工学、</li> <li>12. 構造力学（建築）、</li> <li>13. 建築構造・建築材料・建築施工、</li> <li>14. 計測工学・制御工学、</li> <li>15. 情報工学（ハードウェア）、</li> <li>16. 情報工学（ソフトウェア）、</li> <li>17. 電子工学、</li> <li>18. 通信工学、</li> <li>19. 機械力学、</li> <li>20. 熱力学・熱機関〔機械系〕、</li> <li>21. 土木計画、</li> <li>22. 建築計画・建築法規・建築設備、</li> <li>23. 建築史・都市計画、</li> <li>24. 材料工学（材料科学）〔材料物理、材料化学〕、</li> <li>25. 材料工学（金属材料・無機材料）、</li> <li>26. 原子力工学（原子核・放射線）、</li> <li>27. 原子力工学（原子炉・核燃料サイクル）、</li> <li>28. 船舶海洋工学（流体）〔船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動〕、</li> <li>29. 船舶海洋工学（構造）〔船体強度・振動、船舶設計・艤装〕</li> </ol> <p>（注）8（流体力学〔機械系〕）と10（土質力学・水理学）の同時選択不可。 7（材料力学〔機械系〕）と9（構造力学（土木）・土木材料・土木施工）と12（構造力学（建築））の同時選択不可。</p>	<p>選択問題 1題又は2題 次の29科目から出題 解答題数 ア. 1（建築設計）又は2（都市設計）を選択する場合は、その1科目（1題）のみを選択解答 イ. ア以外の場合は、2科目から各1題、計2題を選択解答 （注）2題以上出題される科目にあつては、そのうち1題のみ選択可。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 建築設計①、</li> <li>2. 都市設計①、</li> <li>3. 計測工学①、</li> <li>4. 制御工学②、</li> <li>5. 情報工学（ハードウェア）①～②、</li> <li>6. 情報工学（ソフトウェア）①～②、</li> <li>7. 電磁気学・電気回路①、</li> <li>8. 電気機器①、</li> <li>9. 電力工学①、</li> <li>10. 電子工学①、</li> <li>11. 通信工学①、</li> <li>12. 信頼性工学①、</li> <li>13. 材料力学〔機械系〕①、</li> <li>14. 機械力学①、</li> <li>15. 流体力学〔機械系〕①、</li> <li>16. 熱力学・熱機関〔機械系〕①、</li> <li>17. 航空工学①、</li> <li>18. 構造力学（土木）①、</li> <li>19. 土質力学①、</li> <li>20. 水理学①、</li> <li>21. 土木計画③、</li> <li>22. 環境工学（土木）・衛生工学②、</li> <li>23. 材料工学（材料科学）〔材料物理、材料化学〕①～②、</li> <li>24. 材料工学（金属材料）①～②、</li> <li>25. 材料工学（無機材料）①、</li> <li>26. 原子力工学（原子核・放射線）①、</li> <li>27. 原子力工学（原子炉・核燃料サイクル）①～②、</li> <li>28. 船舶海洋工学（流体）〔船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動〕①～②、</li> <li>29. 船舶海洋工学（構造）〔船体強度・振動、船舶設計・艤装〕①～②</li> </ol> <p>（注1）13（材料力学〔機械系〕）と18（構造力学（土木））の同時選択不可。 15（流体力学〔機械系〕）と20（水理学）の同時選択不可。 21（土木計画）と22（環境工学（土木）・衛生工学）の同時選択不可。 （注2）1（建築設計）及び2（都市設計）は、「一般的な建築物及び都市・地区の設計を課題とし、マスタープラン（図面及び論述）の作成により、設計する能力及び企画する能力を問う問題」。 他の選択科目は、「科目内容に応じて必要な専門的知識、技術などの能力を論述、計算等を通じて問う問題」。</p>
数理学・物理・地球科学	<p>115題出題 40題解答</p> <p>I部 5題 基礎数学・情報数学</p> <p>II部 10題 次の選択A、B（各10題）から一つを選択 選択A 数理学系 線形代数、解析、確率・統計 選択B 物理・地球科学系 基礎物理、地球科学</p> <p>III部 25題 次の17科目90題のうち任意の計25題解答 集合・位相、代数、幾何、解析、確率・統計、情報理論、計算機数学、離散数学、数値計算、数学モデル、オペレーションズ・リサーチ、経営工学（経営数学・生産管理・品質管理）、物理数学、古典物理学、現代物理学（物性物理学を含む。）、地球物理学、地質学</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の科目から15題出題、任意の2題選択 代数、幾何、解析、確率・統計⑤、情報科学①、数学モデル①、経営工学（経営数学・生産管理・品質管理）①、古典物理学、現代物理学（物性物理学を含む。）③、地球物理学②、地質学②</p> <p>（注）同じ科目から2題選択可。</p>
化学・生物・薬学	<p>106題出題 40題解答</p> <p>必須問題 基礎数学、基礎物理、基礎化学、基礎生物学の計10題</p> <p>選択問題 次の16科目（各6題）から5科目又は6科目を選択し、その30～36題のうちから任意の計30題解答</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 数学・物理、</li> <li>2. 基礎物理化学・基礎無機化学、</li> <li>3. 物理化学・無機化学、</li> <li>4. 有機化学、</li> <li>5. 工業化学・化学工学、</li> <li>6. 分析化学・薬化学、</li> <li>7. 薬理学、</li> <li>8. 薬剤学・衛生化学、</li> <li>9. 食品学、</li> <li>10. 土壤肥料学・環境科学・農薬、</li> <li>11. 生化学・分子生物学、</li> <li>12. 応用微生物学・生物工学、</li> <li>13. 発生生物学・生理学、</li> <li>14. 細胞生物学（形態学を含む。）・放射線生物学、</li> <li>15. 遺伝学・進化学、</li> <li>16. 生態学（動物行動学を含む。）・系統分類学</li> </ol>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の科目から19題出題、任意の2題選択 物理化学②、無機化学①、有機化学①、分析化学①、化学工学①、薬化学①、薬理学①、薬剤学①、食品学①、土壤肥料学・農薬①、生化学①、分子生物学・生物工学①、応用微生物学①、発生生物学①、生理学①、細胞生物学（形態学を含む。）①、遺伝学①、生態学（動物行動学を含む。）①</p> <p>（注）同じ科目から2題選択可。</p>

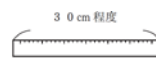
試験の区分	専門試験（多肢選択式）	専門試験（記述式）
農業科学・水産	<p>140題出題 40題解答</p> <p>I部 5題 生物資源に関する基礎 [生物資源科学、食料事情、統計学]</p> <p>II部 10題 次の選択A、B（各10題）から一つを選択 選択A 農業科学系 農業科学に関する基礎 [農業・畜産業、生物学に関する基礎] 選択B 水産系 水産学に関する基礎</p> <p>III部 25題 次の23科目（各5題）から5科目を選択し、計25題解答 1. 作物学、2. 園芸学、3. 育種遺伝学、4. 植物病理学、5. 昆虫学、 6. 土壌肥料学・植物生理学、7. 経済学、8. 農業資源経済学（基礎）、 9. 農業資源経済学（応用）、10. 農業経営学、 11. 食料政策・農業政策・農業関係法律、 12. 家畜育種学、13. 家畜繁殖学、14. 家畜生理学、 15. 家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学、 16. 畜産一般 [畜産物生産・畜産物加工・畜産物流通]、 17. 水産経済学・水産経営学、18. 漁政、19. 漁業学・水産資源学、 20. 水産海洋学・水産環境保全、21. 水産生物学・増養殖学、 22. 水産化学・水産利用学、 23. 水産一般 [水産物生産・水産物加工・水産物流通]</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の20科目（各1題）から2科目選択 1. 作物学、2. 園芸学、3. 育種遺伝学、4. 植物病理学、 5. 昆虫学、6. 農業資源経済学、7. 農業経営学、 8. 食料政策・農業政策、9. 家畜育種学、 10. 家畜繁殖学、11. 家畜生理学、 12. 家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学、 13. 漁業学、14. 水産資源学、15. 水産海洋学、 16. 水産環境保全、17. 水産生物学、18. 増養殖学、 19. 水産化学、20. 水産利用学</p>
農業農村工学	<p>76題出題 40題解答</p> <p>必須問題 農業農村工学に関する基礎 [農業・農村一般③、農業生産・環境一般②、 数学・情報処理③、農業農村工学一般⑥、応用力学④、水理学④] の計22題</p> <p>選択問題 次の9科目（各6題）から3科目を選択し、計18題解答 1. 設計・施工、2. 農業水理学、3. 土地改良、4. 農村計画学・公共経済学、 5. 農村環境整備、6. 機械基礎工学 [機械力学及び機械要素・設計]、 7. 生物生産機械工学、8. 食料機械工学・生物生産施設工学、 9. 環境調節工学 [農業気象学及び生物工学を含む。]</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の9科目（各1題）から2科目選択 1. 設計・施工、2. 農業水理学、3. 土地改良、 4. 農村計画学、5. 農村環境整備、6. 公共経済学、 7. 生物生産機械工学、 8. 食料機械工学・生物生産施設工学、 9. 環境調節工学 [農業気象学及び生物工学を含む。]</p>
森林・自然環境	<p>121題出題 40題解答</p> <p>必須問題 森林・自然環境に関する基礎 [森林・自然環境に関する基礎科学④、森林・ 自然環境の現状と基本政策⑤、森林・自然環境の機能・効用に関する基礎④] の計13題</p> <p>選択問題 次の12科目（各9題）から3科目を選択し、計27題解答 1. 森林環境科学（森林政策及び林業動向を含む。）、 2. 森林資源科学（森林立地及び森林保護を含む。）、 3. 森林生物生産科学（森林経営・育林技術・森林工学）、 4. 砂防学基礎、5. 砂防工学、6. 流域管理、7. 造園学原論・造園材料、 8. 造園計画（自然公園） [自然環境保全を含む。]、 9. 造園計画（都市公園） [都市計画を含む。]、 10. 木材特性・木質構造 [木材需給を含む。]、11. 木材加工・材質改良、 12. 木材成分利用（特用林産物を含む。)</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の4科目（各3題）から1科目を選択し、任意の2題解答 1. 森林科学に関する基礎、 2. 国土保全に関する基礎、 3. 自然環境・公園緑地に関する基礎、 4. 木材等林産物に関する基礎</p>

(注)「専門試験（多肢選択式）」と「専門試験（記述式）」の選択問題の選択は、必ずしも一致している必要はありません。

### 【参 考】製図道具の使用について

「工学」区分の第2次試験の専門試験（記述式）で建築設計又は都市設計を選択する予定である受験者は、製図道具を使用しなくても受験できますが、下記の製図道具を使用することもできます。その場合は各自持参してください。

直定規（30cm程度）1本、直角三角定規（45° - 45° - 90°）1枚、赤及び青鉛筆



直定規(例)



直角三角定規(例)

(注) 次の製図道具は使用できません。

製図板、T定規、勾配定規、雲形定規、三角スケール、分度器、コンパス、消し板、円・だ円・正三角形・正方形及び文字図形用の型板(テンプレート)、電動消しゴム、卓上計算機、その他使用できる製図道具以外のもの



T定規(例)



勾配定規(例)



テンプレート(例)